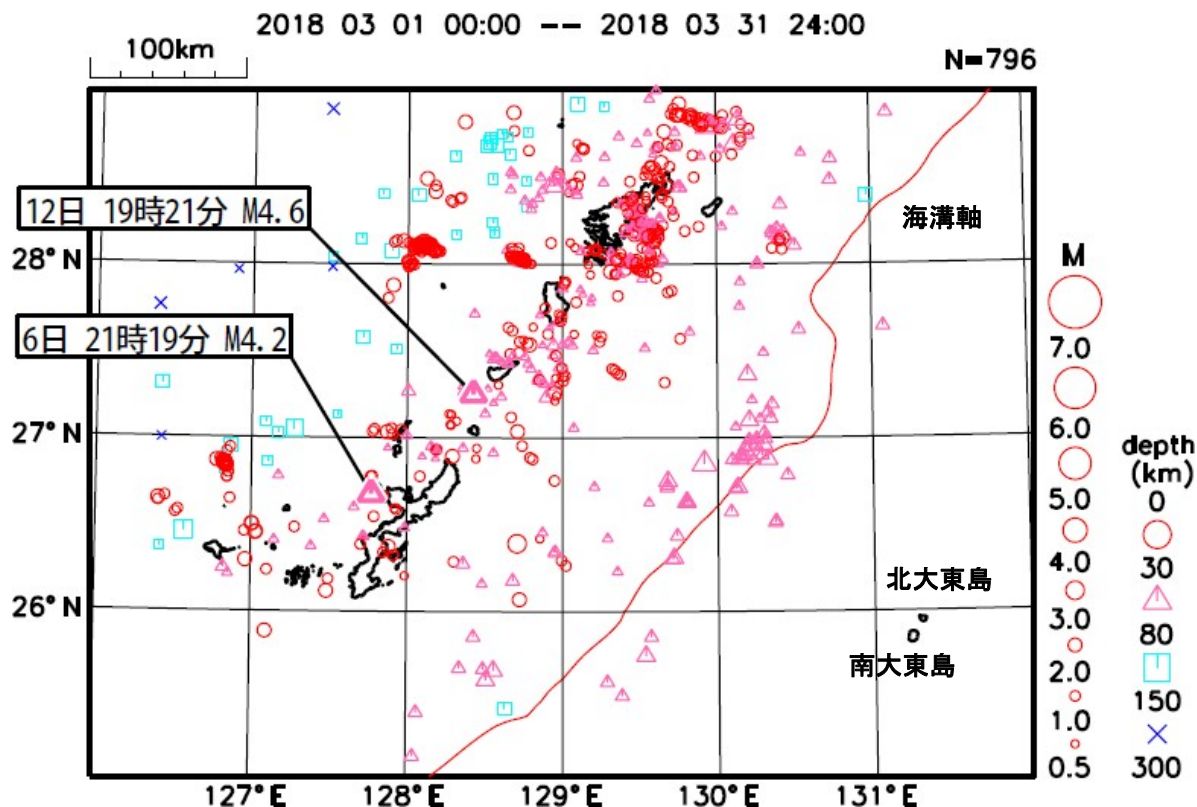


# 地震活動図

2018 年（平成 30 年） 3 月

南大東島地方気象台

## 震央分布図



震度 1 以上を観測した地震を吹き出しで示しています。

図中の記号 M：マグニチュード depth：震源の深さ

N：地震回数（マグニチュード 0.5 以上の回数です）

### [ 概 況 ]

今期間に、大東島地方及び沖縄本島地方とその周辺（図の範囲内）で観測した地震は 796 回（2月 1656 回）で、このうちM4.0 以上の地震は4回（2月 6回）でした。なお、沖縄本島地方で震度 1 以上を観測した地震は2回（2月 0回）、大東島地方で震度 1 以上を観測した地震はありませんでした（2月 0回）。

6日 21 時 19 分に沖縄本島近海で発生した地震（M4.2、深さ 46km）により、沖縄本島及び周辺離島にかけて震度 2～1 を観測しました。

12日 19 時 21 分に沖縄本島近海（沖永良部島の南西約 30km）で発生した地震（M4.6、深さ 48km、今期間最大規模）により、沖縄本島及び周辺離島にかけて震度 2～1 を観測しました。

**大東島地方、沖縄本島地方で震度1以上を観測した地震の表 (期間：2018年3月1日～31日)**

震源時 各地の震度	震央地名	緯度	経度	深さ	規模
2018年03月06日21時19分	沖縄本島近海	26°40.5' N	127°46.2' E	46km	M4.2
震度 2：	名護市港*、国頭村奥、国頭村辺土名*、東村平良*、今帰仁村仲宗根* 本部町役場*、恩納村恩納*、宜野座村宜野座*、伊江村東江前*、沖縄市美里* 座間味村座間味*、うるま市みどり町*、うるま市石川石崎*				
震度 1：	名護市宮里、名護市豊原、大宜味村大兼久*、金武町金武*、栗国村浜 伊平屋村我喜屋、伊平屋村役場*、伊是名村仲田*、那覇市樋川、那覇市港町* 宜野湾市野嵩*、読谷村座喜味、嘉手納町嘉手納*、北谷町桑江* 北中城村喜舎場*、中城村当間*、西原町与那城*、豊見城市翁長* 与那原町上与那原*、渡嘉敷村渡嘉敷*、うるま市与那城平安座* うるま市与那城饒辺*、八重瀬町東風平*、南城市知念久手堅* 南城市玉城富里*、南城市佐敷*、南城市大里仲間				
2018年03月12日19時21分	沖縄本島近海	27°15.0' N	128°25.6' E	48km	M4.6
震度 2：	国頭村奥、国頭村辺土名*、伊平屋村役場*				
震度 1：	名護市港*、今帰仁村仲宗根*、本部町役場*、恩納村恩納*、伊平屋村我喜屋 伊是名村仲田*、うるま市石川石崎*				

※ \*の付いた地点は気象庁以外の震度観測点です。

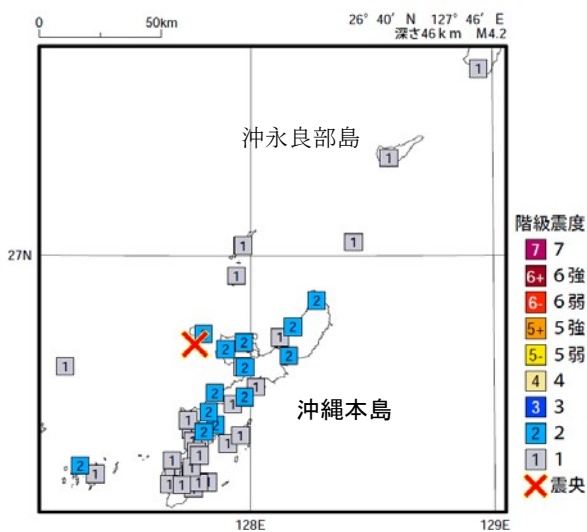
**※ 資料中のデータについて**

この資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

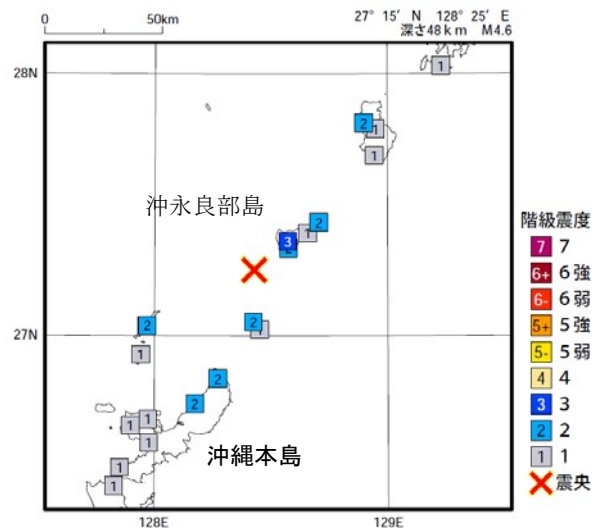
※ データについては精査により、後日修正することがあります。

**大東島地方、沖縄本島地方で震度1以上を観測した地震の震度分布図**

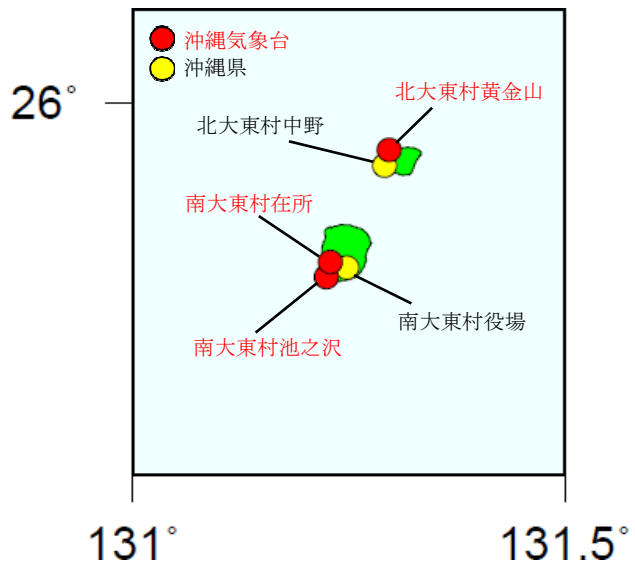
2018年3月6日21時19分 沖縄本島近海の地震の震度分布図



2018年3月12日19時21分 沖縄本島近海の地震の震度分布図



## 大東島地方の震度観測点



本件に関するお問い合わせ先

(南大東島地方気象台)

電話 09802-2-2006

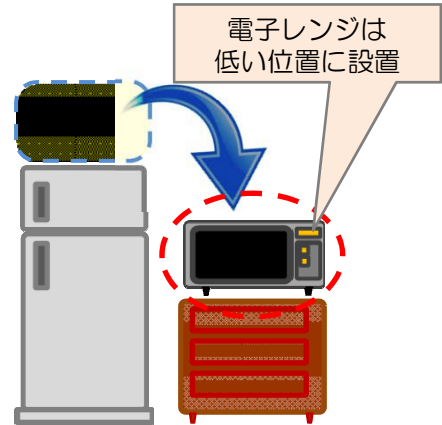
<http://www.jma-net.go.jp/daitou/>

# 地震・津波への備えで安心の新生活を

日本およびその周辺で地震が発生すると、気象庁では速やかに緊急地震速報や津波警報・注意報、地震情報等を発表しています。これらの情報が発表されたときの確な行動をとるためには、日頃の備えが重要です。新生活をきっかけに身近な防災について考えてみましょう。

## 地震への備え

重たい家電や家具などは、転倒による事故を防ぐために、低い位置に設置しましょう。背の高い家具は地震の揺れで倒れやすいので、棧の入った丈夫な壁に固定するか、または下段に重いものを詰め重心を低く設置すると安心です。



## 津波に備えて

沖縄県では、海拔表示を右のように統一しています。赤、黄、青の色分けにより、津波による浸水の危険度を示しています。電柱や公共施設に設置されていますので、自分の居住地域や学校、職場の海拔を確認しておきましょう。



5m以下      6m～19m      20m以上  
沖縄県「海拔表示等に係るガイドライン」より

お住まいになる自治体の防災マップを確認しておきましょう。近くの避難場所がどこなのか、どのような経路で避難すれば安全か、事前に確認しておきましょう。

